



ラピッドチップ用 fFNコントロール

使用説明書

本品は、ラピッドチップ fFNを使用し、頸管腔分泌液中の癌胎児性フィブロネクチンを検出する際に、データ管理用として使用するものです。

【 使用法 】

1. 本品をそのまま使用します。
2. コントロールを測定する際は、事前にコントロールの製造番号とチューブ番号(1又は2)を装置に登録してください。

【 取扱い上の注意事項 】

1. 本品は、ラピッドチップ fFN用のコントロールですので、本目的以外には使用しないでください。
2. 本品は、HBs抗原、HCV 抗体、HIV 抗体陰性を確認したヒト羊水から調製しておりますが、使用の際には手袋などを着用し、検体と同様に感染の危険のあるものとして十分注意して取扱ってください。また、廃棄する場合には、廃棄物に関する規定に従い、医療廃棄物、又は産業廃棄物などとして処理してください。
3. 本品は、防腐剤としてプロクリン 300 が含まれておりますので、誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合は速やかに水で洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当を受けてください。

【 包 装 】 1mL×2濃度×1 fFNコントロール1 陰性×1
fFNコントロール2 陽性×1

【 貯蔵方法 】 2～10℃ 【 使用期限 】 外装に表示してあります。

製造元 **積水メディカル株式会社**
東京都中央区日本橋二丁目1番3号

「ラピッドピア」「Rapidpia」「ラピッドチップ」「Rapidchip」は積水メディカル株式会社の日本における商標又は登録商標です。